

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月26日更新

事務事業名		PTA連絡協議会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木 清智
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	学校教育課	担当者名	中山 大志
	施策の柱	17	地域における子育て支援			所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 3	事業連番 11601	根拠法令	合志市PTA連絡協議会補助金交付要綱		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市内小中学校PTAの連絡協議会への補助金の交付。市内小中学校のPTA連絡協議会の支援を目的に始まった。子どもを取り巻く社会的環境はますます厳しさを増しており、子育ての問題がより重要視されていく中、今後も家庭、学校、地域の連帯した取組みが求められている。 令和4年度より小中学校運営事業（事業番号10728）に統合。
【業務の流れ】	PTA連絡協議会長から補助金交付申請書を受理する。申請書審査後、交付決定となれば交付決定書を発行してPTA連絡協議会長から請求書を受け、補助金を交付する。年度事業終了後は、事業実績報告書を提出していただく。
【主な予算費目】	負担金補助金及び交付金
【意見や要望】	地域における子育てを、保護者たちが主体的に推進することを求める意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	合志市PTA連絡協議会(小学校8・中学校4)に対して、補助金を交付しなかった。 【基準に達しなかった理由】 令和3年度はコロナ禍によりPTA連絡協議会の活動がなく、補助金の申請もなかったため。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志市PTA連絡協議会(小学校8・中学校4)に対して、補助金を交付する。 令和4年度より小中学校運営事業(事業番号10728)に統合。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 円	予算の主な増減の理由 小中学校運営事業へ統合することによる事業費の減
→ イ: 補助金の額		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市PTA連絡協議会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 → ア: PTA連絡協議会の会員数 → イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	合志市PTA連絡協議会の活動を活発に行ってもらう。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人 → ア: PTA連絡協議会の活動に参加した会員数 → イ:
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠 団体活動促進のために参加した人数を設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込	
① 活動指標	ア	円	357,000	0	340,000	0	0	0	0	0	
	イ										
② 対象指標	ア	人	5,463	5,869	5,900	5,900	0	0	0	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	人	995	0	1,000	0	0	0	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	357		340					
	人件費	(A) 事業費計	千円	357	0	340	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	0	0	0	0	0
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	1	1	100	0	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	3	3	398	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	360	3	738	0	0	0	0	0	

事務事業名	P T A連絡協議会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	学校教育課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 活動に対し適切に補助金を交付できる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 P T A活動への要請は、各方面から多岐にわたっており、現在も各方面で活動している。 現状ではP T A活動は限度にあると思われる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和4年度より小中学校運営事業 (事業番号10728) に統合。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市の厳しい財政状況により、市全体で団体補助金は削減されているため、運営に支障を来さないようこれ以上の削減は困難である。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や、事業実績の確認など必要最小限の事務であるため削減は難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 P T A連絡協議会の活動は活発であり、受益に耐えると思われるので公正さは保たれている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 団体が企画立案し、事業を適正に実施している。

3 評価結果の総括 (CHECK)

新型コロナウイルスの影響により事業が中止となった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 現状維持。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					